

平成28年度

小・中学生フォーラム in 新宿中学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月8日(金)、新宿中学校(新宿6-15-22、校長:榎本智司)の3年A組・B組・若草学級の計81名が、「私たちの住む街 新宿の、自慢できること、改善したいこと」をテーマに書いた作文を発表し、吉住健一区長と意見を交換しました。

生徒からは、自慢できることとして、日本有数の商業地であり観光地であること、利便性、アクセスの良さなどについて、また改善したいこととして、繁華街の騒音や環境の問題、治安への不安、待機児童問題などについて、さまざまな意見が表明されました。また、外国人にもわかりやすい公園や公共施設等のサイン表示、災害に対する備えなどの要望もありました。これらの意見等に対して、同調する意見や異なる意見があり、また先生からの質問もあり、活発な意見交換がありました。

区長からは、現在区が進めている取組みについて説明があり、犯罪防止や環境美化など地域と連携して取り組んでいくことの重要性や、中学生にもできる役割などについて話がありました。

司会団担当生徒によるまとめとして、「テーマに基づいた発言でいろいろ気づかされた。みんなで考えていくことが大事なことだと思った。これからもみんなで新宿区について考えていこう。」と話がありました。

最後に、区長から、「選挙権も18歳からになります。自分自身で考えて行動することが大切です。自分で調べて考える習慣を身に付けて、ステップアップしていきましょう。」と話がありました。

生徒たちは、自分達が住んでいる新宿区について考え、意見交換することで、区政に関心を持つ機会を得ることができ、有意義なフォーラムとなりました。

